

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 7月27日更新

事務事業名	社会資本整備総合交付金事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合 計画 体系	政策	5	都市基盤の健康		所属部	事業部	課長名	中村 公彦
	施策	24	計画的な道路の整備		所属課	建設課	担当者名	緒方 寿雄
	施策の柱	67	道路環境の整備		所属班	工務班	(内線)	2244
予算科目	会計 一般	款 8	項 2	目 3	事業連番 11507	根拠 法令	成果優先度評価結果	①
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (22 ~ 32 年度)		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	合志市内の幹線道路を整備する事業。道路網の充実・拡充を図るため平成18年度から事業開始。各路線は交通量も多く重要路線でありながら慢性的な渋滞が発生したり、道路の幅員が狭かったり、歩道が未整備だったりしている。また、年々住宅開発が進み更に交通量も増加しており、通学路併用の重要な幹線道路として位置づけられている。そのため、交通量に応じた幅員の確保や歩道の設置、道路新設などによりスムーズな通行が出来るよう整備を行う。大池植木線については、H28年度に工事の完了。上群中林線においてはH27年度一部工事着工。福原水線については、H28年度に用地測量を全線完了予定で、既に用地測量が完了している箇所においてはH27年度から用地交渉を実施。また、H27年度で道路ストック総点検は完了し、H28年度からは橋梁の補修時事業にも取り組んでいる。
【業務の流れ】	関係機関協議、測量設計、不動産鑑定業務、用地交渉、登記、支払、積算、工事発注、現場監督、中間・竣工検査、支払
【主な予算費目】	委託料、公有財産購入費、補償補填及び賠償金、工事請負費
【意見や要望】	地域住民及び道路利用者から道路拡幅や歩道整備の要望がある。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動)(DO)	関係機関協議、不動産鑑定業務、用地交渉、登記、積算、工事発注、現場監督、中間・竣工検査、支払	29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	ア: 施工延長 イ: 計画延長	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	主要市道	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	渋滞がなくなり、スムーズな通行ができる	ア: 整備率
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~32年度
未整備区間の整備完了を目標に事業を進めていく		1,732,900

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	見込	
① 活動指標	ア	m	239	400	720	714	600	600	600		
	イ	m									
② 対象指標	ア	m	8,805	8,805	2,560	2,560	2,560	2,560	2,560		
	イ	m									
③ 成果指標	ア	%	96	101	28	28	52	76	100		
	イ	%									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円	129,293	52,638	60,390	57,693	63,280	222,420	240,075	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円	107,800	40,500	41,900	57,714	56,400	191,100	185,900	
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	19,557	15,109	10,535	6,787	10,342	12,380	12,025	
		(A) 事業費計	千円	256,650	108,247	112,825	122,194	130,022	425,900	438,000	
		(A)のうち指定経費	千円	383	461	483	287	483	483	483	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	383	461	483	287	483	483	483	
		(B) 人件費計	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	10	10	10	10	10	10	10		
	延べ業務時間	時間	5,298.5	4,738	5,134	3,760	5,134	5,134	5,134		
トータルコスト(A)+(B)		千円	277,759	125,839	112,825	122,194	130,022	425,900	438,000		

事務事業名	社会資本整備総合交付金事業	所属部	事業部	所属課	建設課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 本事業は国庫補助事業であり、要望額を下回る補助金交付決定を受けた。また用地交渉難航等による事業進捗の遅れがある。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 年次計画を策定し、交付決定額と調整を行ない事業を進めていく。用地交渉難航部分においては地権者のご理解・ご協力を求められるよう集中的に交渉する。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果は事業が完成しないと発揮できないが、事業最終年度完了を目標に道路整備を進めていく。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市道改良においては、庁舎内でも建設課のみ施工しており類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 用地買収及び工事積算においても、リサイクル法等の適用によりコスト縮減に努め経済比較を行いながら単価等の決定を行っているため削減余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 本事業は、国庫補助事業採択により施行しており、事業主体は市とされているため必要最小限度内において職員を分担している。よって正職員以外の職員は担当できない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地域はもとより市民の通行利用もあることから、公正であると判断できる。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市道は道路管理者である合志市が管理することとなっており、民間委託等はできない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

すべての要望にこたえることは非常に困難である。しかし、地域の要望を抑えることはできないので、必要性、地域バランスをより一層考慮しなければならない。
 地域住民をはじめ近隣通行者の利便性や交通の円滑化が図られることから、必要な事業であり継続は妥当である。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策